

グランド進行

1 = 数値化を主にした評価 2 = 一部数値化を取り入れた評価 3 = 到達像や活動での見取りによる

項目	行動計画・目標値・到達像	実践と一次評価	外部評価等	年度別評価		
				平成17年度	平成18年度	平成19年度
学力の向上<全体>	基礎的な内容を確実に身に付け、自ら学び考えることができる。					
国語 ²	・全校テストで全員が80点以上とり、NRT国・県の3P以上維持する。 ・教科書の文章がすらすら読め、ことばの意味を理解する。 ・長文の問題を解いたり、自分の考えをまとめて書いたりできる力をもつ。	ア- ア- ア-	担任 国語担当	県調査 NRT		
算数 ¹	・全校テストで全員が80点以上とり、NRT国・県の3P以上維持する。 ・ドリル学習に進んで取り組み、速く正確に計算を解く。 ・文章問題を自力でしっかりと解ける力をもつ。	ア- ア- ア-	担任 算数担当	県調査 NRT		
松っ子 ²	・課題を見つけ、意欲的に課題解決に取り組む。 ・身近な素材を教材化し、地域人材バンクやPCを積極的に活用する。 ・指導と評価の一体化を図り、評価の在り方を工夫する。	イ- イ- イ-	中・高 担任	児童 サポート委員会		
授業 ³	・児童の学習状況を評価し、個に応じた的確な指導を行う。 ・学習内容の習熟度により補助教材やパーフェクトマスターを活用し補 ・新しい発想や応用力をもち、学習に取り組む。	ア- イ- ア- イ-	授業担当	サポート委員会 保護者 児童		
家庭学習 ²	・どの子ども、低20分中30分高40分以上学習する。 ・児童が進んで取り組めるよう意欲化を図り、課題を工夫する。	ア- ア-	担任	保護者 児童		
豊かな心の育成<全体>	思いやりやさしさ、感謝の心など豊かな人間性・社会性を身に付ける。					
道徳教育 ²	・命の大切さや相手を思いやる心が発達段階に応じて育つ。 ・豊かな体験活動との関連を図り、工夫して授業実践をする。 ・「心のノート」「生きる」を毎学期2回以上活用する。	ウ- ウ- ウ-	担任 道徳担当			
飼育栽培 ³	・チャボ当番を行い、生き物にやさしく接することができる。 ・作物、野菜や花の生長に関心を持ち、きちんと世話する。	ウ、エ- ウ、エ-	担任	児童 保護者		
福祉奉仕 ³	・まつさきの里の方と思いやりの心で進んでかかわる。 ・自分でできることを考え、進んで奉仕活動に取り組む。	ウ、エ- ウ、エ-	担任	児童 保護者		
朝読書 ²	・本を毎学期に(低20冊、中15冊、高10冊以上)読む。 ・読み聞かせやアニメーションなど読書に親しませる工夫を行う。		担任 図書担当			
いじめ不登校対策 ³	・問題行動への初期対応を行い、適切に対処する。 ・グループエンカウンターを全校で毎学期2回以上行う。 ・ピースメソッドに沿った的確に対応する。子どもを語る会で児童への共 通理解と対応を図る。(毎週)	エ- エ- エ-	担任 生徒指導担当			
体力・健康<全体>	運動に取り組み、体力の向上を図ると共に、心と体の健康の保持増進し、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。					
体力 ³	・体力テストを年2回実施する。松っ子体力向上プログラムの改訂と実施を行う。 ・体力テストで国・県平均を上まわる。 ・自分のめあてを立て、それに向かって運動に取り組み、自己ベストを更新する。	オ- オ- オ-	教頭 全職員	新体力 検査 保護者		
保健・健康 ²	・業間や昼休み、体を十分動かして、思いっきり遊ぶ。 ・養護教諭による保健・健康を学期に1回以上実施し、児童の健康についての意識・態度の向上を図る。 ・児童対象の保健・健康相談、保護者対象の保健・健康に関する講演、個別懇談を実施する。		教頭 保健主事	学校保健委 員会		
食に関する指導 ²	・学校栄養職員による食に関する指導を学期に1回以上実施し、児童の食生活や食習慣の改善を図る。 ・食生活や食習慣を見つめるたよりを発行したり、個別懇談を実施する。		教頭 栄養職員			
指導力の向上<全体>	ITの活用、学習指導の充実、同和教育の推進などの職員研修を通して、資質・指導力を向上する。					
ITの活用 ²	・全学年でPCを積極的に活用した授業を毎学期3回以上行うア、イ- ・授業研究、IT講習会を通して、IT活用の研修を深める。		全職員	IT運営 委員会		
ITの環境 ³	・情報のデータベース化、職員会議のペーパーレス化、情報共有のシステム化を維持する。 ・ウイルス対策やプライバシー保護等セキュリティを行いネット活用する。		全職員	IT運営 委員会		
学力向上 ³	・年間1回以上授業研修を行い、指導力の向上を図る。ア、イ、オ- ・松小学力向上プランを作成し積極的に活用する。		授業担当			
同和人権教育 ²	・同和人権研修を2回以上行い、正しい理解と指導力を深める。ウ、エ- ・同和人権教育について、授業実践を行う。	ウ、エ- ウ、エ-	教頭 担任			
連携推進<全体>	児童の教育について、保・中との連携とともに、保護者・地域をあげてともに取り組む。					
保育園との連携 ²	・保育園との協議会や共催の講演会を実施する。ウ、オ- ・園児と児童との交流活動を毎学期2回以上行う。	ウ、オ- ウ、オ-	教頭 低担任	保育園		
中学校との連携 ³	・合同研修会を開催し、情報交換や学力・体力向上について協議する。ア、エ- ・TTなど具体的な行動連携を計画・実践する。	ア、エ- ア、エ-	教頭 全職員	中学校		
保護者との連携 ²	・理解と協力を進め、学習参観、保護者会等の参加率90%以上とする。 ・奉仕活動(空カン回収や整備作業)や創作活動(親子作品)に児童、保護者、教職員で取り組む。	ウ-	教頭 全職員	保護者		
地域との連携 ²	・学社連携で地域をあげて運動会、遠泳大会を行う。ウ、オ- ・鬼太鼓発表会や学習発表会に50名以上の方が来校する。 ・サポート委員会を年2回開催するとともに学習参観により意見をもらう。	ウ、オ-	教頭 全職員	サポ-ト 委員会 地域住民		

評価は絶対評価、達成度80%以上=A、達成度60%以上=B、達成度40%以上=C、達成度40%未満=D

~ 評価目標 ~ …… 教育活動 …… 運営活動 …… 成果	~ 共通評価項目 ~ ア … 基礎・基本 イ … 自ら考える力 ウ … 豊かな心 エ … いじめ不登校 オ … 体力向上 (基礎学力を含む) (総合のねらい・取組) (家庭・地域連携)
---	---